

玉永寺通信

2006.10

第29号

発行：富山市水橋小出 52 玉永寺

編集：石川正穂



7月22日 地元の上条小学校と友好校の東京都品川区立大間窪小学校の生徒たちが、玉永寺を訪れました。

住職就任にあたって

住職を拝命してから、はや4ヶ月がたちました。あわただしい毎日をこなしていくことだけで精一杯です。

それでも、5月の本山での研修会で「住職になったらなにがやりたいか」と問われたときに考えたことは、「法友を見つけない」ということでした。

「ただ念仏」の教えを大切にしてこられたご門徒に、これまでもお会いしてきましたが、もっとそうした人を見つけない、そして、お念仏の素晴らしさをもっと多くの人に伝えたいという思いを持っています。

寺の行事をただこなしていくのではなく、多くの方がお念仏の教えに触れていただける機会となるよう、努めてまいります。

今後とも、どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。
(石川正穂)

報恩講

宗祖親鸞聖人に会う

十月二十日 日中 午後一時半

二十一日 晨朝 午前十時

日中 午後一時半

法話 聞願寺若院 埴山法雄氏

法縁寺住職 稲垣一映氏

追記

二十日朝九時半より

仏教婦人会が開催されます

お誘いあわせお参りください

新米住職日誌

4月8日 子ども会歓送迎会



今年1年生が5人も入りました。にぎやかになったのはよいのですが、甘えん坊が多いので、毎月、とても苦労しています。

5月27日、28日 玉永寺本廟参拝団



総勢31名の方々の参加がありました。27日は琵琶湖周遊と比叡山散策。28日は本山御修復の見学と、本廟奉仕の瓦洗いをしました。

私は26日から、門徒総代の堀光正さんと共に住職修習を受け、28日に住職を拝命。はじめての出仕には御門徒のみなさんが参詣してくださいました。

6月17日、18日 祠堂経法要

初日は80名、二日目も50名あまりの方々が
お参りくださいました。朝日町の光照寺
若院、藤條法彰さんにお話していただきま
した。人間味あふれる法話が分かりやすい
と、とても好評でした。



7月22日 戦争のない世界を願って

表紙にありますように、地元の上条小学
校と、友好校の東京都品川区立大間窪小学
校の生徒たち、およそ百人が玉永寺を訪れ
ました。母が幼いころに見た疎開児童たち
の様子や戦争の話をしました。

代表して挨拶した生徒さんが、「戦争は絶
対にやってはいけなと思います」と話
してくださいました。

母の話の内容は、玉永寺ホームページに
掲載しております。

7月29日 玉永寺委員会

門徒総代、各地区の世話方に集まってい
ただき、昨年度玉永寺年中行事収支決算、
今年度予算などについて、審議しました。

8月15～16日 暁天講座

15日はとなみ民藝協会会長、大福寺住職
の太田浩史さんから「真宗のかたち」、16日
は松任、仙龍寺住職の春秋賛さんから「一
室一灯」というお話をお聞きしました。両
日とも60名ほどの参詣がありました。

住職退任と新しい出発

玉永寺住職として、皆様の暖かい支援を
いただきながら47年の長い間勤めてきま
した。この度の退任にあたって厚く御礼申
上げます。

今、いろいろなことが思い出されます。
昭和58年元旦、先坊守の死去、荼毘式の
日は雲一つない冬にはめずらしい晴天、多
くの参詣の人達に見送られ還浄したこと。
鐘楼堂の完成をお祝いして稚児行列の
中、賑々しく落成法要が執行されたこと。
本堂の屋根ふき替え、お内陣の修理、真宗
本廟奉仕団参拝で語り合ったことなど思
いで深いものがあります。

私は住職を退任しても、47年間の出来事
を大切にし、「人間に生まれて来た意義と
生きる喜び」を、これからどの様なことが
身にふりかかろうと、宗祖親鸞聖人が開顕
された浄土真宗の教えを、皆様と共に聞法
し明らかにして参りたいと心新たにしてい
ます。

(石川正生)



玉永寺ホームページ

ドメイン獲得!

玉永寺のホームページが、アクセスしやすくなりました。

「玉永寺通信」のバックナンバーや、寺の由来、住職のブログなどにアクセスできます。

ぜひ、ご一読ください。

<http://www.gyokueiji.net>



編集後記

「ハンセン病問題ふるさとネットワー
ク富山」(回復者の方の里帰りを支援し、
問題について考える市民団体)の副代表
となりました。

その活動の中で、4月に東京の多磨全
生園へ、9月に岡山の邑久光明園、長島
愛生園へと訪れて参りました。

どの療養所にも真宗門徒の方がいらっ
しやり、私たちが友好を深めてくださ
います。国の誤った政策により故郷を追わ
れ、家族と別れ、親鸞聖人を心の親とし
て生きてこられた方々の人生をお聞きす
ると頭が下がります。

高齢化された回復者の方々が、当たり
前に里帰りができる社会を作りたいと思
っています。(正穂)

玉永寺通信

発行所 富山市水橋小出五二一

真宗大谷派玉永寺

TEL 076(478)0846